

17 NAFLDやNASHと言われたら、 どのような検査が必要でしょうか。

A 肝臓に関する検査と合併症に関する検査を受けましょう。

● 血液検査、画像検査に加え、線維化の評価が重要です。

NAFLDやNASHの約30%は肝機能異常を示さないため、血液検査だけでは診断できません。肥満、脂質異常症、2型糖尿病、高血圧、高尿酸血症などの生活習慣病がある方は、腹部超音波検査の受検を勧める必要があります。

NAFLDと診断されたら、予後に関連する肝臓の線維化を評価します。FIB-4 indexは肝線維化評価に用いられる指数として普及しています。日本肝臓学会のWEBサイトで計算が可能です。NAFLDの患者さんで以下の項目に当てはまる場合、線維化の進行が疑われるため、専門医療機関への紹介を検討してください。

FIB-4 index

(フィブフォー インデックス)



年齢、AST、ALT、血小板数を用いて、肝硬変、肝がんに関与する肝線維化の進行度を評価します。

数値が高い方は必ず消化器・肝臓専門医を受診しましょう。



以前「ただの脂肪肝」と言われたが、本当に大丈夫だろうか？



脂肪肝 (NAFLD) について

線維化の進行を疑う検査所見

FIB-4 index	1.3以上
血小板数	20万mm ³ 以下
4型コラーゲン7s	4.5ng/ml以上
M2BPGi	1.0以上

線維化のリスクが高いと判断された症例に対しては、専門医療機関で肝硬度測定や肝生検を検討します。肝硬度測定は、超音波やMRIを用いたものがあります(施設により設備が異なります)。最終的に、脂肪肝の程度や線維化を評価するために肝生検を行うことがあります。肝生検とは腹部超音波装置で肝臓の位置を確認しながら、体表面に麻酔をし、専用の針で肝臓の組織を2cmほど採取する検査です。処置自体は15～30分程度です。頻度は少ないですが、出血などの併発症が起こった場合に備えて、短期間の入院で行われる場合がほとんどです。組織は顕微鏡で観察し、1～2週間で結果が判明します。

